



青柳園だより

2025年
6月号
文京区立青柳幼稚園

“わくわく”と“感動”がいっぱい

園長 米澤 千秋

先日は、小石川植物園での親子遠足へのご参加、ありがとうございました。4歳児もも組は、親子で葉っぱや木の枝を並べて顔を描いたり、かくれんぼをしたりして遊びました。5歳児ゆり組は、大人チームと子どもチームに分かれて、はないちもんめをして大盛り上がり！どちらの学年も、大人も子どもも自然の中で、時折吹く風の心地よさや、広い場所での開放感を味わう楽しいひとときになりました。

また、プロナチュラリストの佐々木洋先生をお招きして、親子で自然散策を楽しみました。土がふんわり盛り上がっている様子のもぐらの塚を「もぐらのチャーハン」という子どもたちの好奇心を刺激する言葉で教えて頂いたり、クスノキはちぎるとショウガの香りがすることを教えて頂いたりしました。

見て、触って、嗅いで、感じて。。。さらに親子で共有することで、子どもたちは自然の不思議さや面白さなどをより体感することができたと思います。



保護者の方からは、次のような感想をいただきました。(一部抜粋)

- かくれんぼや自然のもので顔を作るなど、簡単なことでしたがとても楽しめました。
- 佐々木先生は植物や虫の豆知識がどれも面白く、落ち葉の香りや生き物の生態に触れるなどの実体験を通して親子で楽しく探検することができました。
- 植物園内だけでなく、日常のおさんぽも楽しくなるようなお話をお聞かせいただけて、親子共に楽しませていただきました。
- 植物や虫への興味が自然と湧き、五感を使って体験出来たのが良かったです。
- 大人が聞いても楽しく勉強になりました。この日から子どもがダンゴムシを見つけるとオスカメスカ調べようになりました。
- 親子で楽しくコミュニケーションがとれ、外で活動する気持ちよさがありました。

子どもたちは、日々の園生活でも身近な自然や生き物に触れ、様々な経験をしています。園庭のアジサイを見て「色が変わってきたね」と変化に気付いたり、園庭で見つけたカタツムリや、職員が連れてきたオタマジャクシ・ザリガニを学級で飼育して、毎日様子をじっくり見ながら世話をしたりしています。「先生！ザリッピー(ザリガニ)が2匹になってる！」と、きれいに脱皮した殻を見付けて驚いたり、飼育しているカメをお散歩させながら、優しく甲羅を洗ったりする姿が見られます。

そして近々、井の頭自然文化園からモルモットを譲り受け、青柳幼稚園の仲間として迎える予定です。先日、井の頭自然文化園の飼育員さんからモルモットの飼育について、教員が改めて講習を受けました。大切ないのちを迎えることについて、子どもたちにもしっかり伝え、モルモットに親しみ、必要な世話や関わり方を直接体験しながら学んでいけるようにします。



子どもたちにとって自然は“わくわく”や“感動”にいっぱい出合えるものです。子どもたちが身近な動植物と関わる中で、自然の大きさ、美しさ、不思議さなどを体感できるようにしていきます。そして、教師も一緒に心を寄せながら、子どもたちの喜びや驚きなどに共感し、子どもたちの知的好奇心や探求心、いのちを大切に育んでまいります。